

# JTA TENNIS RULE BOOK 2026

試合に参加される皆様、大会を運営される皆様へ主な改正点をお知らせします。

## JTA公式トーナメント: 昨年より変更・追加されたルール/諸規則/規定 (抜粋)

2026ルールブック参照ページ	電子機器の使用
試合で起こるQ&A 「Q7 電子機器の使用」 P45	<p>【電子機器の使用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレーヤーは、試合中いかなる電子機器も使用不可</li> <li>・スマートウォッチは電源が切られた状態でも試合中の着用不可</li> <li>・ITF大会で着用認可のあるデータを確認する画面のついていないWhoopデバイスは着用可能</li> <li>・電動ファン付きジャケット・ベストの着用および電動ファンについては、各エンドチェンジ・セットブレイクの時間内に限り使用可能</li> </ul> <p>★解説 ITFに合わせてスクリーンの付いていないWhoopデバイスの使用が許可されました。</p>
2026ルールブック参照ページ	ドロウ作成における留意点
JTA公式トーナメント競技関連規則 「7) ドロウ作成の期日」 P109	<p>【ドロウ作成における留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドロウの作成は、アクセプトタンスリストに採用したランキングを用いて立会人(選手、ディレクターなど第3者)の同席のもと公開</li> <li>・予選ドロウ作成は、予選前日14時以降に実施</li> <li>・本戦ドロウ作成は、予選終了後に実施</li> <li>・予選終了前に本戦ドロウ作成を行わなければならない状況の場合、予選開始後から本戦前日までの間に、JTA公式トーナメント競技規則の3～12にある指示に従ってドロウ作成</li> </ul> <p>★解説 公平性を保つためドロウの作成の際は第三者に立ち合いをしてもらう。</p>
2026ルールブック参照ページ	トイレブレイクと着替え
JTA公式トーナメント競技関連規則 「26) トイレブレイクと着替え」 P124	<p>【トイレブレイクと着替え】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレブレイクは男女ともにセットブレイク時に指定された近くのトイレで取得可能 (※ただし、状態が深刻であるとアンパイアが判断した時は、緊急措置としてトイレブレイクを認める。)</li> </ul> <p>★解説 レフェリー、審判はあらかじめこのトイレが使用可能か共有・指定するようにする。</p>
2026ルールブック参照ページ	オフコートコーチング
JTA公式トーナメント競技関連規則 P124	★解説 2026年度からトライアルではなく本ルールとして採用されます。
2026ルールブック参照ページ	服装規定
コード オブ コンダクト (JTA公式大会共通) 「2) 服装と用具のコード」 P132/P133	<p>【服装規定】</p> <p>(シャツ セーター 上着 / 女子)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両方の袖それぞれに39cm<sup>2</sup>以内の商業ロゴまたは製造業者ロゴを2つ。商業ロゴまたは製造業者ロゴを39cm<sup>2</sup>以内の1パッチに2つまで付けられる。文字を入れてもよい。文字のない製造業者ロゴは77.5cm<sup>2</sup>以内でも複数繰り返しでも、各袖の1つの製造業者ロゴまたは商業ロゴの代わりに、袖またはわきの織い目のどちらかに付けてよい。</li> <li>・袖ありシャツの前身頃または襟に、39cm<sup>2</sup>以内の商業ロゴまたは製造業者ロゴを2つ。</li> </ul> <p>(男女共通 / バッグ) ※商業ロゴの大きさ変更 M+2xC 6sq</p> <p>★解説 2025年度に変更した部分を、2026年のルールブックに反映し記載されました。</p>
2026ルールブック参照ページ	ゲーム及びセット終了時のスコアアナウンスの例
コートオフィシャルの手引き 「7) ゲーム及びセット終了時のスコアアナウンスの例」 P181	<p>【ゲーム及びセット終了時のスコアアナウンスの例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マッチタイブレイク方式の試合で1セットオールになった場合のアナウンス</li> </ul> <p>「セットブレイクの後、10ポイントのマッチタイブレイクを行います。」</p> <p>★解説 ITFに合わせて、マッチタイブレイク前のアナウンス例が記載されました。</p>

2026ルールブック参照ページ	各判定とコールをする権利者
コートオフィシャルの手引き 「1) セルフジャッジの方法」P195	<p>【各判定とコールをする権利者】</p> <p>a. 「フォールト」「アウト」「グッド」はネットから自分側のプレーヤー・チームのいずれかがコールでき、その判定が成立する。</p> <p>b. 「ネット」「スルー」「タッチ」「ノットアップ」「ファウルショット」は両プレーヤー・チームのいずれかがコールでき、その判定が成立する。</p> <p>c. 「フットフォールト」はレフェリー(アシスタントレフェリー)、ロービングアンパイアのいずれか。(選手はコールできない)</p> <p>※ただしコートの外からコールする場合は、選手に周知していることを条件とする。</p> <p>★解説 コート外からフットフォールトを取る際の手順がより明確に記載されました。</p>

2026ルールブック参照ページ	レフェリー、アシスタントレフェリー、ロービングアンパイアの仕事
コートオフィシャルの手引き 「2) レフェリー、アシスタントレフェリー、ロービングアンパイアの仕事」P196/P197	<p>【レフェリー、アシスタントレフェリー、ロービングアンパイアの仕事】</p> <p>・必要があれば、コート内外からフットフォールトのコールやプレーヤー・チームの判定をオーバールールできる。しかしプレーヤー・チームからのアペールの後にオーバールールすることはできない。</p> <p>★解説 フットフォールトのコールについての記載が追加されています。</p> <p>・レフェリー(アシスタントレフェリー)、ロービングアンパイアのいずれかがコート外にいて目に余るミスジャッジを目撃した場合は、コートへ入り、<b>返球が正しく相手コートに入った場合は故意ではない妨害(1回目)としてポイントレットにする。</b>ただし、ミスジャッジの前に打たれたボールが明らかなウイニングショットまたはエースだった場合は、ミスジャッジをしたプレーヤー・チームの失点となる。</p> <p>★解説 自身が訂正した場合と同様の対処になります。 (※2026ルールブック P195 セルフジャッジの方法15) 誤ったコールを訂正した場合と同様の対処)</p>

2026ルールブック参照ページ	ソロチェアアンパイア(SCU)方式
コートオフィシャルの手引き 「3) ソロチェアアンパイア(SCU)」P198	<p>【ソロチェアアンパイア(SCU)方式】</p> <p>・国内大会のみで採用されるSCU方式は、ラインアンパイアがつかず、プレーヤーがラインの判定を行い、SCUがライン以外の判定を行う。SCUはそのプレーヤーのライン判定が明らかに間違っていると判断した場合、直ちにオーバールールし、次の通り処理する。ただし、プレーヤーがアペールをした後に、オーバールールすることはできない。</p> <p>1) プレーヤーの「アウト」「フォールト」のコールをSCUが「グッド」とオーバールールした場合、そのプレーヤー・チームは失点となる。</p> <p>2) <b>選手自身でコールを訂正した場合は、セルフジャッジの方法15)に従う。</b></p> <p>3) ネットに触れたあとネットを越えてバウンドしたサーブを、レシーバーが「フォールト」とコールし、SCUが「グッド」とオーバールールした場合は(サーブの)レットとなる。</p> <p>★解説 試合方法についてSCU方式とセルフジャッジ方式の混同を防ぐため「セルフジャッジ方式」の文言が削除されました。また、SCUが付いた際に自身でコールを訂正した場合は、ラインジャッジに関しては選手自身でコールする(セルフジャッジ)ので、故意でない妨害として正しく返球した場合1回目はリプレイ、2回目以降は失点となります。</p>

2026ルールブック参照ページ	ダブルスのペア同士の判定食い違い
コートオフィシャルの手引き 「1) セルフジャッジの方法」P195	<p>&lt;※変更点ではないがルールに関する認識の統一&gt;</p> <p>【ダブルスのペア同士の判定食い違い】</p> <p>4) ダブルスの判定とコールは、1人のプレーヤーが行えば成立する。しかし、ペアの両選手の判定が食い違った場合はそのペアの失点となる。</p> <p>15) 誤ったコールを訂正した場合(クレーコートを除く) …&lt;省略&gt;…<b>ダブルスのペアの判定が食い違ったとしても「フォールト」「アウト」をコールしたプレーヤー/チームが「グッド」に訂正した場合も同様の扱いとする。</b></p> <p>★解説 ダブルスでペアの判定が食い違った後に判定を訂正した時は訂正された「グッド」の判定(チームとしての判定)が成立し、15)に従って正しく返球していた場合は1回目はリプレイとする。</p>

この他にも、運営上の改正・文章の補足、削除などがあります。詳しくは、2026ルールブックで確認してください。(改正された項目には、縦線があります)  
大会に参加される選手の皆様は、各大会の実施要項が優先されます。大会会場でインフォメーションを確認して下さい。

**2026年度もルール・マナーを守り、フェアプレイ推進のご理解とご協力をお願いします。**